

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所てのひら 野洲小南		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2026年 2月 15日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大型遊具で身体を動かし(ボールプール・トランポリン・平均台・ブランコ)感覚統合を養う。	怪我などしないように安全に気を付けている。	更なる充実のために静の活動を広げるための取り組みを行う。
2	ひとりひとりに寄り添う支援	児童一人一人の特性を生かし、困っている事を減らすために、定期的にカンファレンスを行っている。	カンファレンスで抽出した課題を職員全員に周知し、個別的支援を行う。
3	理学療法士などの専門職や保育士がいる。	日々の活動で身体の動きを観察したり保護者のニーズに合わせて支援している。	専門職の知識を職員間で共有し、統一した支援を行う取り組みをする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	報告、相談、連絡が円滑に行われない。	変則勤務の為伝達のずれが生じる。	連絡帳の活用と回覧の署名を徹底して行う。
2			
3			